

仮想化サービス

全国規模設置の仮想ルータと仮想ストレージによる基本環境

サービスの概要

●利用者自身で設定が行える仮想化環境

『仮想化サービス』の「仮想ストレージ」は、利用者にJGNネットワーク上の仮想マシン／ストレージを提供します。また「仮想ルータ」は、利用者にJGNネットワーク上のハイエンドルータの利用権限を提供し、ネットワークトポロジの最適化や、より複雑なルーティングを用いる実験が可能です。

これらを組み合わせて利用することで、従来は困難だった応用性の高い実証実験などが可能となります。

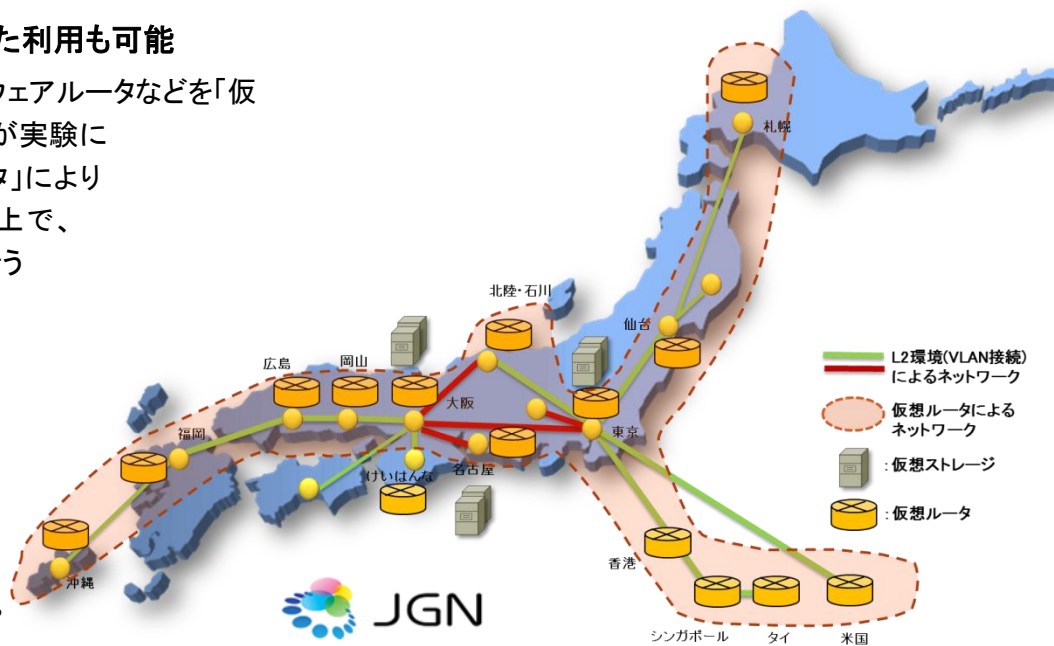
※仮想化ルータ：単一筐体内で複数動作可能な論理的なルータ機能を備えた装置。

利用例・適用分野

●他のサービスと組み合わせた利用も可能

利用者が独自に開発したソフトウェアルータなどを「仮想ストレージ」に実装し、利用者が実験に適した設定を施した「仮想ルータ」により仮想的に作られたネットワーク上で、実証実験（動作確認）などを行うことが可能です。

また、他の提供サービスとの組み合わせで利用することも可能で、利用者はルータやストレージを準備することなく、幅広い、より高度な研究開発や実証実験を行うことが可能です。



サービス環境など

●仮想ルータ

全国の複数拠点に配備しており、仮想のルーティングプレーン（実験環境）と、それらを管理するコンソールを利用（設定、操作）いただく基本環境です。各拠点に設置のルータが持つ仮想ルータ機能（RIP、OSPF、BGP4、MPLS、各種カプセル化機能等）を利用者自身で設定することが可能です。

●仮想ストレージ

全国の複数拠点（関東、近畿、九州等）に分散設置した、仮想マシン（VM）とストレージを利用いただく基本環境です。各拠点は JGN バックボーンと 10Gbps で接続されているため、広帯域、大容量のデータ転送を行う実験も可能です。利用者は VM（VMware）に自由に OS をインストールすることが可能で、10Gbps で接続されたストレージを利用できます。

お問い合わせ先：国立研究開発法人情報通信研究機構 総合テストベッド研究開発推進センター テストベッド連携企画室

Tel : (042)327-6005(小金井), (03)3272-3060(大手町) E-mail : tb-info@jgn-x.jp URL : <http://testbed.nict.go.jp/>

光テストベッド

テラビット級の光伝送の実験を可能とするテストベッド環境

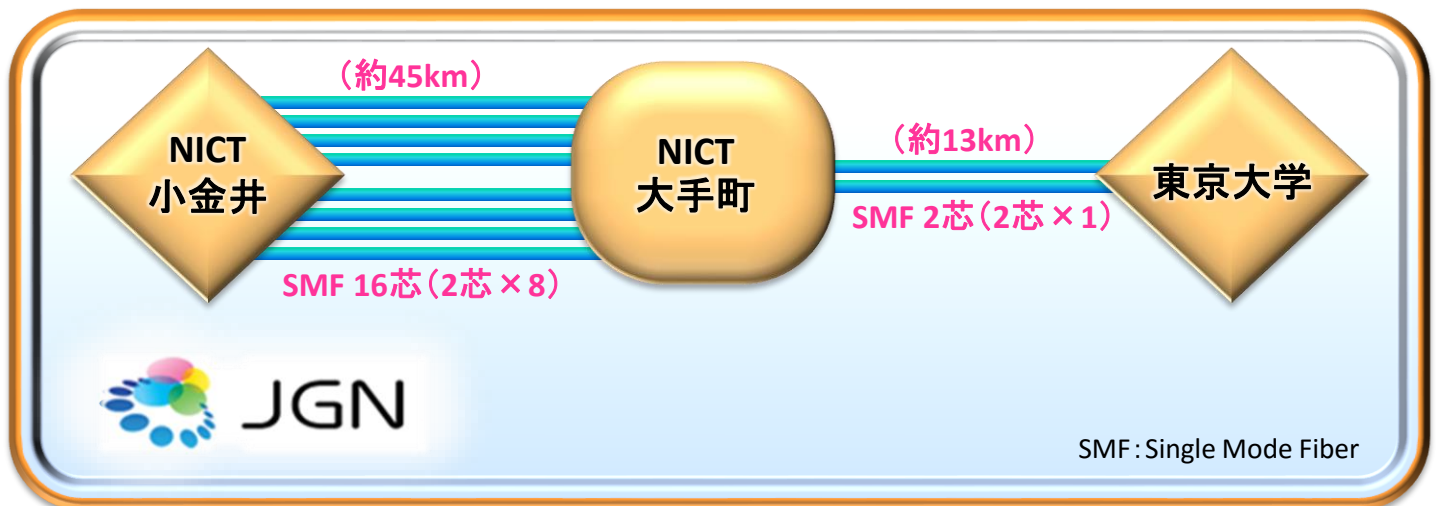
サービスの概要

●実験内容に合わせた自由な接続が可能

NICTの拠点(小金井—大手町—東京大学)間に低損失の光ファイバ芯線を敷設し、テラビット級の光伝送等の実験が可能な光テストベッド環境を整備しています。利用者は、各拠点内に設置したパッチパネルにより、光ファイバ接続構成を自由に組み替えることができるため、様々な実証実験・研究開発に対応することが可能です。

サービス環境など

●各拠点間の技術仕様



- ① 小金井 — 大手町
 - ・シングルモード光ファイバ(ITU-T勧告G.652準拠): 16芯
 - ・中継器・増幅器なしで、1550nm帯にて損失20dB以内
- ② 大手町 — 東京大学
 - ・シングルモード光ファイバ(ITU-T勧告G.652準拠): 2芯
 - ・中継器・増幅器なしで、1550nm帯にて損失16dB以内

※ JGN 光テストベッドにおいては、各拠点または拠点間において、光増幅器(光アンプ)は装備しておりません。実験の必要性に応じて、機器の持ち込みにてご利用をお願いいたします。

●ご利用について

- ・各拠点への機器の持ち込みの際は、実験毎にご相談ください。
- ・実験希望日が重なった場合、スケジュール調整をさせていただくことがあります。

お問い合わせ先: 国立研究開発法人情報通信研究機構 総合テストベッド研究開発推進センター テストベッド連携企画室

Tel : (042)327-6005(小金井), (03)3272-3060(大手町) E-mail : tb-info@jgn-x.jp URL : <http://testbed.nict.go.jp/>